

信頼される教職員のために

不祥事ゼロへ向けて！

浅口市立寄島小学校

私たちは

「すべては子どもたちのために」を合言葉に、毎日真剣に児童と向き合い、よりよい学校づくりのために、惜しみない「努力」をしています。

そして

児童の成長を糧に、一つひとつ「努力」を積み重ねています。その熱意が、児童、保護者、地域の方々の「信頼」へと結びついています。

ところが

教職員の不祥事が後を絶ちません。不祥事を起こすことで、積み重ねてきた「信頼」が一瞬で崩れてしまいます。

1 だれからも信頼される教師であるために

- ゆとりをもって仕事ができる教師
- 成果が実感できる教師
- 困り感が共有できる教師

2 信頼を感じて！

学校は、子どもや保護者、地域の方々からの信頼の上に成り立っています。もちろん教職員の信頼関係は言うまでもありません。

そのために

(1) セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、わいせつ行為等迷惑行為の防止

- ・ 日常的に児童及び職員間の良好な人間関係の構築に努めるとともに、気になることがあれば、互いに声を掛け合う。
- ・ 勤務時間における個人のスマホ等の職員室外へ持ち出しは禁止とする。

(2) 体罰、不適切指導の防止

- ・ 日常的に児童の人権に配慮した指導が行われているか相互に点検し合い、気になることがあれば、互いに声を掛け合う。
- ・ 指導には複数の職員であたるなど、チームで適切に対応する。

(3) 個人情報管理・情報セキュリティ対策

- ・ USBメモリ等により各種データを校外へ持ち出すことは原則禁止とする。
- ・ 個人情報に関するファイル等には必ずパスワード設定を行う。パスワードの管理は厳重かつ適切に行う。

(4) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止（重点月＝4月、12月）

- ・ 飲酒の機会が多い季節を重点的な啓発月間とし、互いに声を掛け合う。
- ・ 心と時間に余裕をもって、運転するよう努める。

(5) 不適切経理処理の防止

- ・ 学年会計やPTA会計など管理職による点検を実施する。
- ・ 通帳管理の徹底及び執行状況を定期的にチェックする。

- ◎ 家族に胸をはって話せますか？
- ◎ 見つからなければ、大丈夫と思っ
ていませんか？
- ◎ 第三者として新聞で見たらどう
思いますか？

3 取組

- ・ 報告・連絡・相談の徹底（問題や課題を一人で抱え込まない。）
- ・ 互いに何でも気軽に話ができるような風通しの良い職場環境をつくる。
- ・ 会議や研修等で、資料や新聞記事を活用し意識啓発を行う。
- ・ 時間外勤務の縮減に努め、心身の健康管理に十分配慮する。

○公金を適正に管理するために

(1) 一人の担当で公金の管理を行うことのないようにする。

通帳と印鑑の管理を別々の人が管理することとし、複数で管理できるような仕組みの構築

(2) 通帳等の残高確認は必ず複数で行うようにする。

学期末や出入金時に複数の教員で確認するようにする。(必要に応じて管理職の確認も行う。)

(3) 残高確認を行う頻度は、少なくとも月に一度は確認するものとする。

(4) 現金集金の際に児童から預かったものは、その都度、事務担当や担当教員へ手渡しする。

(教室や職員室の事務机に置いたままにすることは厳禁。引き出し内も同様)

(5) 各教科の教材注文等は、適切な締切り期限の設定を行い、業者への支払い(受注)日を確認して集金を行う。

(6) 管理職は学期に 1 回程度、耐火書庫内に支払い未納のまま残っている金銭がないかどうか確認をする。